

平成28年度交通事業の概要

本市交通事業は、市民に身近な公共交通機関として重要な役割を果たしてきておりますが、交通手段の多様化や少子高齢化の進行、民間バス事業者との競争激化など、交通事業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、事業運営に当たりましては、交通事業の基本である安全輸送の確保と親切・丁寧な乗客サービスの提供を図るとともに、経営健全化計画に基づき、増収対策や事業の効率化による経費削減などに積極的に取り組んでまいりました。

その主要施策等は、次のとおりです。

交通局施設リニューアル事業では、新武之橋変電所を整備し、敷地内に「鹿児島市路面電車発祥の地 高麗町交通局跡地」記念碑を設置しました。

軌道事業につきましては、新型超低床電車2両を導入したほか、イベント電車（貸切専用）のリニューアルを行いました。

また、郡元電停交差点の改良に着手したほか、車内案内表示のリニューアル等を行いました。

このほか、6月に初めて大人（中学生以上）を対象とした市電運転体験を開催するなど、市電の安全運行について、理解を深めていただきました。

自動車運送事業につきましては、低公害低床型バス（大型10両）及び貸切観光バス（1両）を発注したほか、北営業所及び桜島営業所管内の路線に係る管理の受委託を引き続き行うとともに、「あいばす」（小原地域、小野・伊敷地域）の運行を開始しました。

また、安全運行を確保するため、ドライブレコーダーを路線バス30両に設置するとともに、バス停留所上屋（2か所）を整備しました。

このほか、運行の効率化や利用者の利便性の向上を図るため、鹿児島アリーナ等で開催されるイベントにシャトルバスを運行する等、積極的かつ効果的な車両の運用に努めました。

軌道事業及び自動車運送事業共通の取組につきましては、定期観光バス及び観光レトロ電車「かごでん」に、公衆無線LANを設置するとともに、多言語の運行コースガイドのホームページを作成しました。

また、交通局ふれあい推進事業では、昨年度に引き続き、資料展示室や電車整備工場など一連の施設等を職員の解説付きで巡る施設見学会を開催したほか、小学生を対象に市電・市バスのお仕事体験や試運転線を活用した市電運転体験を行うとともに、恒例の「市電・市バスゆーゆーフェスタ」を「祝！移転1周年」として、交通局舎・電車施設及び隣接する上荒田の杜公園において開催しました。

さらに、上荒田町へ交通局と市立病院の移転及び上荒田の杜公園の開設から1年を経過したことを記念するラピトレカを製作したほか、海外からの観光船が入港するマリポートかごしまやグリーンファームでの「さくらまつり」等、多数の来場者が訪れるイベント会場等において、交通局オリジナルグッズの出張販売を行うなど交通事業のPR及び増収に努めました。

このほか、広告収入拡大のため、「2017年スタートダッシュキャンペーン」として、局指定広告取次人に対する広告料金の割引率引き上げを行い、車体全面広告（9000形・大型バス）の契約を締結（各1件）しました。

交通局移転後の跡地につきましては、平成28年10月に売買契約を締結し、解体工事の終了後、平成29年3月に引渡しを行いました。